

清沢おさむ ホットメール

春のさわやかな日差しのもと、山やまの木々も緑をましています。

4月10日には市内の小中学校で入学式が行われ小学生680人、中学生は790人が新1年生になりました。しかし市内の小中学生数は減少傾向にあります。

18年度から飯能市第4次総合振興計画がスタートしました。計画では活力ある都市づくりを目指し、豊かな自然の中でいきいきと子育てのできる環境と賑わいのある街づくりを進め、10年後の目標人口を85000人としました。しかし、具体的に子育てを支援する施策はまだまだです。人口減少をくい止めて



「子育てをするなら飯能で」を実現するために。これからも頑張ってもらいます。

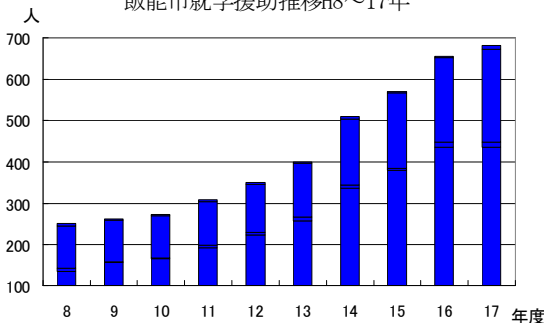
本日は議会報告をお届けいたします、ぜひ御覧ください。

国民負担が重くなるなか 低所得者を守る施策を

この間、小泉内閣の進める新自由主義政策のもと社会的格差が広がりつつあります。不況やリストラなどと共に相次ぐ

控除の廃止や縮減、税制の改悪は大きな負担となって市民生活にも現れています。平成8年から10年間で生活保護世帯は約2倍、就学援助は2.7倍と大きな伸びとなっており、市民生活の厳しさが解ります。このような時こそ市民を守る自治体本来の役目をはたさなければなりません。例えば野田市や鹿沼市では、父子世帯にも児童扶養手当を市独自で支給する制度があります。飯能市でも低所得者や高齢者、一人親家庭などを守るための市独自の施策に取り組むよう強く求めました。

飯能市就学援助推移H8～17年



区画整理

換地設計の見直しは

滝沢 岩沢南部や北部の区画整理は移転戸数が多いため、まったく先が見えません。私は住民要望の強い下水道や狭隘道路の整備のために、計画の見直しが必要があると度々議会で取り上げてきましたが、18年度に換地設計見直しの予算が計上され、移転戸数をなるべく減らしたいとしています。住民の望む下水道早期整備と共に、防災や交通面で住民に支障をきたさないように見直さなければならないが、今後の進め方についてお聞きします。

双木建設部参事 まず阿須小久保線の影響範囲についての調査、また都市計画道路以外の幹線道路や公園など公共施設

の配置について、また今回の見直しにあてはめ一団となっている家並みや、行き止まり道路また幅員変更などの見直しを中心に進めています。

滝沢 住民の方から区画整理の進め方がよく解らないとの不満の声がありますが、今回の見直しも含め、今後どの様に住民の方に説明を行なって行くのでしょうかお考えはいかがですか。

双木 この変更は全権利者にも及ぶ見直しとなりますので、権利者の方々の合意が必要となります。説明の方法については今後検討をして行きたいと考えています。

阿須小久保線の整備は

阿岩橋について

滝沢 阿須小久保線の整備については、岩沢南部地内の関係者について個別説明会も開催されましたが、架け替えの必要な阿岩橋については、まだ何も示されていません、検討状況はいかがですか。

双木 阿岩橋については橋梁の橋台部分が岩沢南部地区内に造る事になりますので、周辺付近の取り付け道路や換地の見直しが必要になりますので、できるだけ早い時期に設計を行い整備を進めていきたいと考えています。

下水道について

滝沢 また阿須小久保線の整備と共に周辺の下水道整備も当然進める必要がありますが、今後の進め方についての考えは。



双木 下水道整備については、阿須小久保線の取り付け道路や周辺の一街区程度は整備が必要と考えています。下水道の整備方針や換地設計の見直しとも係わるので合わせて検討していきたいと考えています。

特定施設誘導地域

土地問題について

現在精明東部では、特定施設誘導地域として三地区が指定され、流通や製造会の建設が既に進んでいます。企業誘致と土地問題について質問をしました。

滝沢 飯能市は企業誘致を進めています。優良な企業を誘致し、市民の雇用を増やす事は大切な事です。この企業誘致について地域の指定や企業の問題などは市が深く関わっています。しかし土地の取得や売買については、地権者と企業の問題になっています。今まで土地価格は下落傾向にあり、特に現在誘致を進めているような場所は農地や山林が多く売買の対象からも遠のいていた場所でしたが、この様な誘致の計画が始まれば、当然投資目的の土地売買が始まるのが危惧されます。市としてその様な事の無いように十分な監視体制が必要ですが取組はいかがですか。

本橋総合政策部長 土地の取引価格が適正に行なわれるようにと言うことですが、土地取引は特定誘導地域内でも基本的に自由です。しかし市が企業誘致のた



地内のプラスチック加工工場

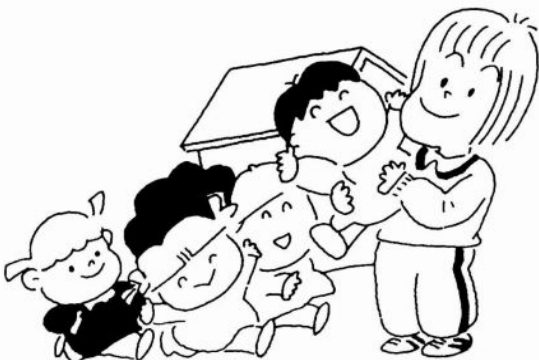
めに特に指定した地域ですので、市としては地元説明会を開催し企業誘致について説明し、進出する企業と地権者の土地売買契約によって、企業が用地を取得して開発することを理解していただき、市に信頼を寄せていただいています。市として地権者や地元との連携を密にしながら先行しての土地取引については慎重に望んでいただくようお願いをしています。

子どもたちを守る取組、市でも十分な援助を

最近各地で小学生や中学生が誘拐されたり、殺害されるなど痛ましい事件が発生しています。入間市では元加治駅構内に民間パトロールステーションが設置さ

れ、地区住民の防犯活動が始まりました。飯能市でも各所で子供達の見守り活動を見受けますが、これから始める所もあります。防犯意識が高まってきているなか地域防犯について飯能市も十分な援助を行なうよう求めました。

小沢総務部長 多くの市民の方による見守り隊やパトロールが行なわれ、吾野東吾野地区では自治会・PTAや地区の皆さんの努力でやまびこパトロール隊も発足しました。今年度は今まで防犯用品を配布していない、自治会、学校、PTAにも配布してまいります。



「救急車」到着前に命を救う対策を！

自動体外式除細動器（AED）が配備されます



心臓疾患や胸の強打により心室細動を起こすと、心臓は痙攣を起こしてポンプ

の役目をしなくなり、救命率は1分経過するごとに10%ずつ失われ、10分後にはほとんどの方が死に至ると言われています。救急車の到着には約6分かかります。その間できるだけ早く心臓に電気ショックを与える事が必要とされています。AEDは致死性の不整脈を正常に戻す機械で、消防署で行なわれる普通救命講習にも取り入れられるようになりました。人命を救う大切な機械ですので、早急に配備するよう議会でも取り上げ求めていましたが、今年度10台、本庁舎・市民会館・保健センター2台（内名栗1台）・体育館5台・さわらびの湯に設置される事が決まりました。

の役目をしなくなり、救命率は1分経過するごとに10%ずつ失われ、10分後にはほとんどの方が死に至ると言われて

皆さんと一緒に実現 せまい道、少しでも通りやすく

昨年10月、加治東自治連の会長さんや地域の市議会議員と共に、道路や下水道などの住環境の改善に向け、「18年度予算に生かす地域要望」を市に提出、交渉を行いました。

防犯等やカーブミラーの設置、また狭くて自動車のすれ違いが大変だった道路に退避場所を新たに設置する事ができました。

今後も各地域の要望実現に向けて頑張ります。



待避所が
できました
(岩沢地内)

連絡先

日本共産党市議会議員

滝沢 修

飯能市岩沢1146-1

TEL・FAX (972) 3875

E-mail takizawa@hanno.jp

2006年5月発行

日本共産党飯能市議団のホームページも御覧ください。

URL <http://www.hanno-jcp.com>